

石溜穿石

題字 山溜穿石 揮毫 松前町立松前小教諭 大原 美保 解説は3面



発行所 (公財)愛媛県教育会
〒790-8545 松山市祝谷町1丁目5-33
エスフォーエール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

- (2) 学校紹介 北久米小学校
- (3) ふるさとに生きる
- (4) 特集「私の好きな言葉」
- (5) 県教育会教育功労者表彰受賞者
- (6) 県教育会活動方針・事業計画
- (7) ふるさとスケッチ
- (8) ローカルトピックス

人と人とのつながり、届いた想い、未来へ



西予市立美術館
ギャラリーしろかわ
前館長 小田原 誠

教育現場のみならず、地域でも活躍されておられます皆様方、日頃からお疲れさまです。

ギャラリーしろかわは、平成5年7月に南予地方初の行政美術館として開館し、横山大観やノーマン・ロックウェルなどの絵画、彫塑や陶器等600もの収蔵品がありますが、今回は「かまぼこ板の絵」をご紹介します。

全国及び海外から11100歳までの幅広い世代が、食後廃棄する蒲鉾板に絵を描き応募する全国「かまぼこ板の絵」展覧会は、全ての応募作品を展示して個性の輝きを認め合い、心の交流を図る世界的にも珍しいSDGsな公募展（蒲鉾の産地・画材・題材・枚数・プロ・アマを問わず誰でも自由に応募ができる展覧会）です。28回目を終了し、第1回からの累積応募数は312、871点、板は627、701枚、応募者数は延べ493、292人です。

美術館に所狭しと展示した中から自分の絵を探すのは大変ですが、それも楽しみ方の一つ。子どもたちの純粋で無垢で大胆な筆タッチ、大人の緻密で繊細、ほれ

誠

たちと一緒に過ごさせてほしい」との両親の願いから、今はたくさんの仲間たちとにぎやかに過ごしています。他にも、自身の闘病を描いた作品や、東日本大震災直前に投函され奇跡的に届いた作品と現地関係者との絆など、まだまだご紹介したい物語はありますが別の機会に。「かまぼこ板の絵」にはいろいろな想いがあり、長い歴史の中で様々な物語が生まれています。人の絆、応募者間の交流、応援してくださるファンとのつながり。一点一点に込められた想いを大切に世界の方々と絵を通じてつながり、その想いを皆さんへ届けたいと考えています。ぜひ作品に会いに来てください。仕事や地域活動など多種多様なことで日々疲れている心へ、世界一小さな絵からあふれる想いや感動を栄養にして、明日からの活力にしてほしいと願っています。

一略 歴一

(おだわら・まこと)

愛媛県西予市城川町出身
平成4年4月から城川町役場に勤務
令和3年4月から令和6年3月までギャラリーしろかわ館長
令和6年4月から高川地域づくり活動センターに勤務

聞 ぶきょう 響 んう

大きなドングリを拾いながら秋の風情あふれる坂道を上り、ギャラリーしろかわへ館長の再会▼当時、小田原館長は愛媛県青年団連

合会（愛青連）会長。ツインドーム重信での愛媛県青年大会開会式は各地区選手の熱気にあふれていた。各スポーツ種目優勝チームは全国青年大会へ▼青年団のルーツは一説によると室町時代前後。祭祀行事等共助を行っていたとか。太平洋戦争後の混乱期には復興に貢献。昭和21年11月、埼玉県蕨町（現蕨市）青年団が次世代を担う青年たちを励ます目的で開催した青年祭。これが現在の成人式の始まりと言われている▼激変する社会情勢の中、10年程前に解散せざるをえなかった「愛青連」▼令和4年度「愛媛の社会教育実態調査」によると、地域青年団の団体数は平成24年の50が令和2年には27。しかし翌年から増加。小田原会長たちの想いが再び芽吹いてきた▼全国各地の地震や豪雨災害の復興にも貢献している青年団。令和5年「厚生労働白書」は改めて「つながり・支え合いのある地域共生社会」の重要性を訴えている▼令和4年「日本青年団新聞」(全国組織「日本青年団協議会」機関誌)に載る鬼北町青年団員の言葉に学びたい。「一人ではできないこともみんなの力で可能にできる。だから楽しいし、やめられない。」

ひとこと

大切な出会い

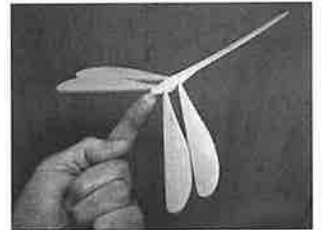


東予周桑教育会
会長
目見田康介

「感動が人を動かし、出会いが人を変えていく。ひとつひとつが決して欠くことのできない、大切な出会い。」

今から20年余り前のこと、旅先で感動的な出合いをさせていただいた。「竹とんぼ」と、それを作られた80歳になられる古老との出合いであった。その「竹とんぼ」は、小豆島にある某ホテルの売店に飾られていた。その絶妙なバランス。心が癒されるその姿。どれをとってもすばらしいものであった。

聞くと、それは売り物ではないという。では、作った方に是非お会いしたいと厚かましいお願いをした。しばらくして、「明日このホテルに来てくださるようですよ。」と言う。思いもよらない連絡に、とても感激したことを覚えている。



翌朝、来てくださった古老は、満面の笑みを浮かべて、私にこう言った。「そんなに感動してくれただけでいいから、私に作らせてください。」

「感動が人を動かし、出会いが人を変えていく。ひとつひとつが決して欠くことのできない、大切な出会い。」

「自分が作ったものを人に差し上げて、喜んでもらえるのがうれしい。だから作り続けることができた。」と言う。いただいた「竹とんぼ」は、私の宝物になった。

早速、私の「竹とんぼ」作りが始まった。ノウハウが分からないまま、実物を見ては作り、失敗しては作りの繰り返しであった。今までに何百匹作っただろうか。教育行政の立場で、社会教育、特に青少年教育に関わっていた時のことであった。「感動が人を動かす」「出会いが人を変えていく」ことは確かである。このような感動が広がっていくことを願いつつ、今も作り続けている。

学校紹介

No.248

松山市立北久米小学校

なかよく かしこく

たくましく

本校正門を入るとすぐに、「なかよく かしこく たくましく」の校訓碑が迎えてくれます。学校沿革史を繰ってみると、校訓碑の建立は昭和62年度のことでした。本校は、昭和57年に桑原小学校、久米小学校を分離して新設された学校です。平成3年には、福音小学校新設に伴い、一部を分離しています。今年度は、創立43年目となります。

令和4年8月から校舎の長寿命化大規模改修が始まり、令和5年9月まで続きました。木製のサッシや腰板、ベンチや書架が配置され、木の温かみを感じる校舎に大きく様変わりをしました。

新しくなった校舎、教室で、子どもたちも教職員も気持ちよく学校生活を送っています。

新しくなった図書



室の開放に向けて、一役買ってくれたのは、職場体験で来校していた、久米中学校と桑原中学校の生徒のみなさんです。

本の運搬、開梱、収納と本当に頑張ってくれました。そして、図書館支援員の尽力により、図書の配置や掲示など、子どもたちを図書館へいざなう仕掛けが充実しました。おかげさまで、図書館は、たちまち子どもたちのお気に入りの場所となり、にぎわっています。

本棚はスチール製から木製になりました。高い本棚はなく、子どもたちの目線でも全体を見渡すことができ、本を探しやすくなりました。中央に設置された大きな木製ベンチでは、子どもたちが友達と一緒に読書を楽しむ姿を毎日見ることが出来ます。図書委員会が企画した読書スタンプラリーも好評で、足しげく図書室に通う子どもが増えました。

読書は、「考える力」、「感じる力」、「表す力」等を育てるとともに、豊かな情操を育むとされています。「読書離れ」「活字離れ」が指摘され、数十年。一朝一夕に解決することは困難ですが、読書を通して、なかよく、かしこく、たくましく学び、共に伸びる北久米っ子が育つことを願い、教育活動に取り組んでいます。

(教頭 佐伯 敬)

題字に寄せて

山溜穿石



松前町立松前小
教諭 大原 美保

山溜穿石（山溜、石を穿つ）。山から滴り出る水が、長い時間を掛けて岩石に穴を開けること。転じて、こつこつと努力を積み重ねていけば、何事も成し遂げることができるという意味である。

毎日運動場に飛び出し、縄跳び練習をしていた子どもが、「跳べるようになったよ」と見せてくれた笑顔。苦手な鍵盤ハーモニカが吹けるようになったときの得意気な顔。最近流行している「タイパ」もいけれど、やはり積み重ねの大切さを感じる。子どもたちに、努力を続けることによる成功体験やその喜びを、いくつも味わわせていきたい。

ふるさとに生きる

百年の生きた教育から学ぶ

No.125



小林 清 先生

大正13年生まれ。昨年「白寿」を迎えられた「小林清先生」のご自宅を訪問し、お話を伺いました。

取材の際に手渡された直筆の資料は、出生から現在に至る経歴や主な出来事が記されており、一目で、人生百年の重みと魅力が感じられました。

小林先生は一本松尋常高等小学校時代に、地域に根ざし、勤労を尊んだ教育を受けられ、6か年皆勤で卒業されました。太平洋戦争時の師範学校時代には、寄宿舎生活の中、見識を深

訪問者 前田 善正
（南宇和教育会前会長）
訪問者 山中 広樹
（南宇和教育会前事務局長）

め、卒業後は佐世保にて軍隊生活を経験し、戦後は一本松国民学校の新任教師として地元に戻られました。当時は衣服がなく、軍服で教壇に立ったそうです。

その後、南宇和郡内の小中学校に赴任し、30代で教頭となり、東京芸術大学への国内留学もされました。「勤評闘争」「愛教研発足」の激動期には、宇和島教育事務所の指導主事として、地域教育に尽力されました。昭和30年代には、愛媛県で「主体的学習」の研究が推進されましたが、「時間

がかかりすぎる」等の理由から衰退していったとのことです。その後、教頭11年、校長11年を務められ退職されました。

退職後、旧城辺町教育委員を16年間、その中で委員長を4年間務められました。また、地元の老人クラブの会長なども務め、地域社会に貢献されました。

今後の教育に対する期待として、「郷土から学び、地に足の着いた子どもを育ててほしい」と述べられました。そして、南宇和郷土史を参考に、自作された「えんこうばあさん」の紙芝居を披露していただきました。

機会があれば、学校で読み聞かせたいと意欲を見せておられます。また、10年程前から、地域のオカリナ教室に通っておられ、「ふるさと」「青葉の笛」の演奏と毎日仏前で唱える

「祇園精舎」の暗唱を披露していただきました。流れる暗唱は大変明瞭で、感銘を受けました。

最後に、小林先生は「家族はもちろんのこと、多くの人々のおかげで今日がある。特に、妻を大切にしながら、一人になると一緒に笑ったり、話したり、喧嘩したりもできない。」と、深い感謝の意を表されました。今年「百寿」を迎えられる小林先生のご健康とご活躍を心より祈念申し上げます。

小林 清 先生(99歳)
（南宇和郡愛南町在住）

文教俳句

一俳句ポストより

雪舞うや遠き故郷の父想う
冬陽浴びコウノトリ舞ふ伊予の島
寒風の窓打つ音や誰が叩く
金線梅やマラソン人の万の息
虫出しの雷鳴過ぎて齶るる空

愛知県 岡村 房子
松山市 池田 容子
松山市 池田 容子
東温市 戒能 多喜
東温市 戒能 多喜
東温市 戒能 多喜



教育振興事業

学事事業
教育研究助成事業
教育文化事業

福祉事業

共済事業

（提携保険事業）

教育の振興を目指す!

日教弘の
「3大事業」



公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部

〒790-8545 愛媛県松山市祝谷町1-5-33 エスポワール豊蔵文教会館内
TEL (089) 932-8358 FAX (089) 932-8357

特集 私の好きな言葉

和顔愛語

「私の好きな言葉」



小松市立小松小 指導教諭 越智 勝也

「和顔愛語」(わげんあいご)は、「大無量寿経」というお経の中にあるようです。和やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接するということ意味です。この言葉は、さらに「先意承問」(せんいじょうもん)と続き、相手の気持ちを先に察して、その望みを受け取り、自分が満たしていく意味のようです。

祝 受章・受賞おめでと〜ございます

- ◇瑞宝双光章 (高齢者叙勲)
 - 三宅 健二様 88歳 元土居町立小富士小学校校長 四国中央市
- ◇令和5年度 愛媛県教職員選賞 (職名等は受賞時のもの)
 - 酒井 学様 60歳 四国中央市立三島東中学校校長 四国中央市
 - 横江 茂樹様 60歳 松山市立道後中学校校長 松山市
 - 土居 浩様 60歳 松山市立小野中学校校長 松山市
 - 岡田 敏樹様 60歳 今治市立吹揚小学校校長 今治市
 - 越智 文明様 60歳 松山市立清水小学校校長 松山市
 - 宮岡 真司様 60歳 伊予市立那中小学校校長 伊予市
 - 三好 美覚様 60歳 八幡浜市立白浜小学校校長 八幡浜市
 - 水野 哲也様 60歳 鬼北町立近永小学校校長 鬼北町

学級担任や部活動顧問をしていた頃は、この言葉に程遠い接し方で過ごしてきたと自覚しています。特に部活動では、厳しさだけの関わりに対して、「厳しさの中にある優しさ」などと言いつくすような指導ぶりでした。生徒にその真意を伝えることもなく、ただの自己満足だけで突っ走っていたように振り返ります。その当時は、眉間に2本の深いシワがあったことを覚えています。後に、当時の部員の保護者から、「先生の言っていた意味がようやく分かったような気がする」と、娘が話しています。」と伝えられ、何だか恥ずかしく思うとともに、熱いものがこみ上がったこともあります。学級担任や部活動顧問を離れてからは、やがてジワリと伝わる「厳しさの中にある優しさ」に加えて、直接伝えていく優しさも必要な立場となり、日頃より「和顔愛語」に近付こうと努めてきました。いや、そうしようと思っただけかもしれ

ません。ただ、眉間のシワが、少しずつ消えてきました。これからも大切にしたい言葉です。

私の好きな言葉



久万高原町立直瀬小 校長 八木 伸浩

前任校の今治市立宮窪小学校には、合言葉があります。「あ」と言えば、「あいさつ」。「い」と言えば、「いす入れ」。「は」と言えば「はきものそろえ」。「だ」と言えば、「だまってそうじ」。その他にも、「自分がされてうれしいことをしたり言ったりする」や「あめ」「あ」は「安全」、「め」は「迷惑をかけない」など子どもたちに意識してほしいことをキーワードにして、機会があることに繰り返し提示しています。

その中でも児童玄関に掲示してある言葉は、「はきものそろえ」です。児童玄関には、「はきものそろえ」これ宮小の伝統」と掲げられています。宮窪小学校に赴任してまず驚かされたことは、児童玄関の靴箱にある靴がきれいにそろっていることでした。一つ一つの置き場の真ん中に、かかと部分をきちんと端にそろえて置かれています。1年生も入学したての4月の頃はまだまだです

積立年金制度

愛媛県教育会が実施する福利厚生制度です

ただいま9月1日加入日分 申込み受付中!

制度内容等の詳細はお問い合わせください。

公益財団法人愛媛県教育会 089-945-2511 担当 高田



トリムイオン整水器のご案内 水を変える暮らしを変える

私たちの身体の約60%は水が占めています。飲む水も、料理で使う水も、私たちの生活のさまざまな場面でふれあうすべての水を生命に適した、よりよい水でお届けしたい。それが日本トリムの考える「ウォーターヘルスケアという、新習慣。」です。



お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会 電話(089)925-0555 または 郡市学校生活協同組合

が、それが段々とそろってきます。5月も終わる頃には、宮窪小学校の伝統を守る一員になります。

これらの言葉は、代々受け継がれてきた伝統であるとともに、これまで宮窪小学校に勤められてきた先生方の努力の積み重ねの結晶でもあります。伝統を受け継ぎ、次につなげることは我々の使命です。私も宮窪小学校の伝統を引き継ぐ一人になれていければうれしいです。

人の世に熱あれ、 人間に光あれ



前宮市立山小
指導教諭
大原 佳彦

西光万吉氏が起草した水平社宣言の言葉である。私は、20代半ばから5年間、北条南中学校で同和教育推進主任を任され、人としての生き方に直結する非常に重要なことを多く学んだ。還暦を迎えた今日まで、自身の教育観の根幹部分となっていると感じる。

当時、同僚の先輩教師が、西光万吉氏の生家である奈良県御所市にある西光寺に行き、現地研修を受けたことを知り、夏休みに一人で、大型

バイクに乗って、西光寺まで行ったことを思い出す。

西光万吉氏の晩年は、画家としても活躍され、その中で雅楽「蘭陵王」を愛し、その姿を好んで描いたと聞いた。その絵には、「慈悲」や「平和共栄」などの文字が刻まれており、人間を尊敬することにより、人の世に光明をもたらそうとする願いが込められている。そのことに心打たれたことも思い出す。

かつて21世紀は、「人権」の世紀となると言われたが、全くそのとおりであった。これからの教育や世の中においても、「人権」は、一層重要なキーワードとなるであろう。

同推進主任当時、勤務校のある女子生徒が、「何を言う 生まれも育ちもみな地球」という人権標語を作り、市の人権啓発センターに懸垂幕で掲げられたことを思い出す。

これからの私自身の人生においても、光と熱のある生き方をしていきたいと思う。

モイカ先生と呼ばれて



北灘市立北灘小
教諭 幸永 岩崎

私の趣味は釣りである。中でも「エギング」というイカ釣りが大好

きである。餌木(エギ)というルアーを動かして、海中のイカを誘き寄せて餌木を抱かせるのである。餌木を水中に落とし、リールをただ巻くだけではイカは釣れない。数ある餌木の中から、その時の季節や天候、時間帯、水の透明度等、様々な状況に合わせた物を選択し、ロッド(竿)のしゃくり方も変える。イカが餌木を抱いた瞬間を察知し、素早く反応しロッドを立てる。見事に餌木の針がイカに食い込めば、ロッドが大きくしなる。この瞬間が、私は一番好きでたまらない。私の周りにもエギング好きの先生方が大勢いらっしやるが、おそらく同じ感覚だろうと、勝手に想像している。

宇和島市立戸島小学校に勤務していた頃は、学校近くの波止でエギングを楽しんでいた。地元の方は、波止に立つ私を見つけると、よく声を掛けてくださった。「モイカ先生、今日は何杯釣ったかね。」「モイカ先生、戸島のイカがおらんなるで。」「と、私のことを「モイカ先生」と呼んだ。私は教師であるし、ただ単に「イカ釣り好きの教師」という意味で呼んでいたのかもしれない。いや、きっとそうであろう。しかし、エギングをこよなく愛する私は、その言葉を「エギングの達人」と勝手に解釈し、聞く度に悦に浸っていたのだ。戸島を離れて数か月となるが、戸島でのエギングと、あの「モイカ先生」の響きが恋しくてたまらない。

感激の美に出会う

道後温泉駅から歩いて5分、閑静な住宅街に佇む美術館です。日本近代画壇を代表する画家たちの優品、日本画では横山大観・加山又造、洋画では小磯良平を中心とした絵画、そしてロダンの大理石彫刻《ファウナ(森の妖精)》など500点を所蔵しています。四季に合わせた展示で、地域の皆さまをはじめ道後を訪れる方々に心豊かなひとときを提供いたします。



上村 松園(沙くみの園)

〒790-0848 愛媛県松山市道後喜多町4-42
TEL.089-946-6678 www.seki.co.jp/mus/
営業日:水曜日~日曜日(休館日あり)
観覧料別:午前10時~午後5時(入館は観覧の30分前まで)

セキ美術館
SEKI ART GALLERY

シロアリ 予防と駆除のご案内

大地震の際、シロアリ被害のあった建物は倒壊の危険が高くなります。地震対策はシロアリ防除から

友清白蟻

人と住まいの安心をサポート

信頼のスタッフが調査から駆除・メンテナンスまで、トータルにスピーディに対応。安心してお任せください。



お問い合わせ
愛媛県学校生活協同組合連合会
または 都市学校生活協同組合まで

電話(089)925-0555

祝

令和5年度愛媛県教育会教育功労者表彰受賞者

(注) 在住地は、受賞時年度のものです。



石河 由美子
社会教育
人権教育
情操教育
八幡浜市



井上 英二
社会教育
大洲市



井手 理
学校教育
社会教育
伊予市



宮内 正民
社会教育
松山市



柳原文 廣
社会教育
今治市



大元 勇
生徒指導
社会教育
四国中央市

▼市内の保育所、小・中学校、高等学校において、講話や「人権の花活動」等を通して多年にわたり人権教育の推進に尽力した▼図工・美術教育の発展に貢献した▼地域教育会副会長として、奉仕活動や文化活動を推進した。

▼多年にわたり、特別支援教育の充実に尽力した▼地域の家庭児童相談員、警察協助手員等として、子育てや青少年の健全育成に努めた▼大洲市教育会の中心人物の一人として長年その手腕を発揮し、活動の活性化に貢献した。

▼地域の公民館、教育相談員、老人クラブ、家庭教育・子育てサポートグループ等の中核として、地域のコミュニティづくりや子育て支援を充実させた▼史談会会長として、地理・歴史等の調査活動を刊行物にまとめた。

▼市の補導センター、教育支援センター、青少年育成会議の役員として、青少年の健全育成や不登校児童・生徒の支援に尽力した▼ボーイスカウト愛媛県連盟理事長として活躍した▼大学の山岳会副会長として、自然歩道を整備した。

▼子どもや保護者、教職員や社会人の教育相談を充実させ、その相談活動を年間数百回積み重ねてきた▼適応指導教室の立ち上げに貢献した▼地域の教育会会長として、会員の交流や学校教育への支援・協力に尽力した。

▼地域の防犯協会会長として、子どもの見守りや青パトでの巡視を行った▼学校評議員や公民館運営審議委員として、三代交流事業や独居老人訪問等により地域の絆を深めた▼市内の陸上競技の発展に多大な貢献をした。

自動車大口団体割引保険のおすすめ

学校生協組合員様は、現在ご加入の自動車保険無事故割引から16%割引、一括払でさらに5%割引になります。保険料のお支払は給与引法となります。教員OBの方も口座振替（一括払）で適用されます。



お問い合わせは

- 一引受保険会社一
- 東京海上日動火災保険（株）
- 三井住友海上火災保険（株）
- 損害保険ジャパン（株）

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
保険事業部担当まで

あんしんむすぶ

教職員共済生協

- 死亡・入院・特定の病気 3つの「もしも」に備えて
- 予期せぬ火災・住宅災害・自然災害に備えて
- 日常のさまざまなケガや賠償事故にも対応

トリプルガード

火災共済
自然災害共済

レスキュースリー



資料請求は下記へ。お気軽にご連絡ください。

教職員共済生活協同組合 愛媛県事業所
〒790-8545 松山市祝谷町1-5-33 (愛媛文教会館内)
☎089-998-2141 <https://www.kyousyokuin.or.jp/>

■令和6年度公益財団法人愛媛県教育会活動方針

愛媛県教育会は、昭和41年に設立以来、半世紀にわたって本県の教育文化・福祉の向上に努めるとともに、平和で民主的な国家・社会の形成に尽力してきた。平成25年1月8日に「公益財団法人愛媛県教育会」として再出発して10年余りを経過した。この間、事業や財務管理のあり方について関係機関の指導を仰ぎながら、関連法規を踏まえ、試行錯誤しつつ公益法人としての基盤を整えてきた。

今後も、会員に限らず、広く公共の利益にかなう事業展開をより一層充実していく必要がある。県組織と18地区教育会との意思疎通を円滑にし、行政をはじめとした関係機関・団体との連携・協働を深め、公益事業の充実・強化を目指したい。

本会の主要な公益目的事業は、

- 教職員の教育研究や研修及び学術文化の振興
- 児童・生徒の学びの保障及び県民の生涯学習の支援
- 学校・家庭・地域社会と連携・協働して行う心の交流事業の実施

である。これらの事業の確実な実施により、次代を担う子どもたちが健やかに成長するよう、社会総がかりで取り組む教育を推進する中核としての役割を果たしたい。

17年目を迎える「えひめ教育の日」関連事業は、今までの取組を基盤に県下に「教育の日・教育月間」の意義を普及し、更なる充実・啓発に努めてまいりたい。また、子どもたちの学習支援や地域ボランティア、県民の教養を高める活動等の公益事業を一層積極的に展開することを方針とする。

■令和6年度公益財団法人愛媛県教育会事業計画

公益目的事業	①施設貸出事業	会議室貸付事業	学力向上、健全育成、教職員の資質・能力の向上、家庭教育の充実、文化活動の推進（趣味講座、カルチャー教室等）
		宿泊施設活用事業	教育活動、教職員研修等（学習・スポーツ合宿、体験学習等）
	②編集出版事業	教育・文化の振興事業	「愛媛文教月報」の発行（年間11回、各号13,200部） 俳句の作品募集と表彰
		学習資料の編集出版事業	学習資料の編集出版（学習資料の作成、改善と充実、著作権処理）
	③教育支援事業	教育研究・研修支援事業	日本連合教育会研究大会愛媛大会の計画・運営
		団体助成事業	（支援団体）・愛媛県小中学校長会・愛媛県小中学校教頭会・愛媛県教育研究協議会・教科等委員会・愛媛県公立小中学校事務長会・「えひめ教育の日」推進会議・無人島チャレンジ実行委員会・坊っちゃん劇場子ども舞台芸術体験サポートシステム後援会・愛媛県自転車新文化推進協会・子どもの愛顔応援ファンド・各地区教育会への委託実施事業（文化財めぐり、囲碁大会、川柳教室、課題学習補助活動等）
		学術文化支援事業	文教画廊展、「えひめ教育の日」関連写真展示、俳句等優秀作品展、会員作品展、俳句ポスターの設置、各種資料・図書・会誌等の展示・貸出
	④地域振興事業	教育力向上事業	「えひめ教育の日」関連事業（推進大会・推進フェスティバル） 地域活性化事業（文化財めぐり、囲碁大会、ボランティア活動、学習支援、講演会、講師派遣等）
収益事業	①会館営業事業	会議室貸付事業	一般企業研修会・教育関係団体理事会等
		宿泊事業	観光目的宿泊・企業関係者宿泊等
		施設貸付事業	教育関係団体等への事務所としての施設貸付（校長会、教頭会、愛教研等14団体）
		貸店舗事業	会館利用者の食事、宴会のためのレストランをテナントとして貸付
	②調査出版事業	調査出版事業	「愛媛県教育関係職員録」や図書の編集出版
その他事業	会員福利事業	福利厚生事業	積立年金、セカンドライフセミナー
		相互扶助事業	会員の慶弔と表彰…高齢者慶祝、傘寿・白寿、物故者への弔意、災害見舞、教育功労者の表彰

ふなやとステッチ

No.476

通天閣



四国中央市立川之江北中 教諭 上田 綾菜

生まれも大阪、育ちも大阪。大学卒業まで喧騒と雑踏の中で暮らしてきました。今では愛媛県の穏やかな雰

囲気を満喫している私ですが、年に数回の帰省の度に、

やはりここが故郷なのだと肌で感じます。

桜並木の間から通天閣を望むこの景色は、2年間の育児休業を終える春、最後の帰省のときに見たものです。満開の桜に、背中を押されたような気持ちになりました。

似顔絵提供・川之江南中学校 美術部



ご冥福を お祈りします

川端 輝一様	97歳	四国中央市上分町三六三	6	3	8
越智 好子様	96歳	喜多郡内子町内子五七六	6	3	10
岸田千寿子様	97歳	西条市国安五五四	6	3	11
鴻上 政士様	85歳	新居浜市船木甲四一	6	3	14
川尻 浩様	69歳	八幡浜市五反田二二三六〇	6	3	15
真部 昭二様	81歳	今治市矢田乙二二	6	3	16
小野 貞枝様	92歳	新居浜市沢津町三二二六	6	3	21
藤原 恭慶様	91歳	松山市湯の山三丁目四七	6	3	24
山本 道國様	89歳	松山市中西内四〇	6	3	25
若林 洪平様	91歳	南宇和郡愛南町城辺甲三六三	6	3	27
三好 浩様	83歳	松山市余戸西一丁目七五	6	4	2

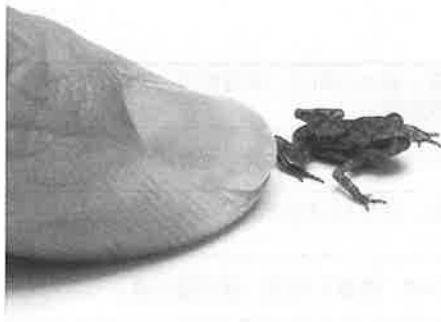
ローカル・ピククス

春の企画展

「やまのぬし・ヒキガエル」

面河山岳博物館では、現在、標題の企画展が開催されています。

日本最大級のカエルであるニホンヒキガエル。大人の手の平からはみ出すほど大きく、じっと一点を見つめる顔やのそのそと動く姿には愛嬌があり、ペットとして大切にしている愛好家もたくさんいるほどです。今回の企画展では、令和4年から5年に久万高原町



民を中心とした住民の皆さんから集めた観察情報を基に、久万高原町のニホンヒキガエルの「いま」に迫ります。また、猛毒をもっていたり、繁殖期にたくさん個体が一か所に集まったりといった不思議で魅力的な生態や、蛙石やお守りなど縁起物に見立てた文化史的側面なども紹介しています。開催期間は、4月27日(土)〜6月23日(日)です。興味深い企画展示となっておりますので、ぜひ一度お越しください。

お知らせ

◆第75回日本連合教育会 研究大会愛媛大会・第17回「えひめ教育の日」推進フェスティバル

【期日】令和6年7月25日 (木) 26日(金)

【会場】愛媛文教会館等

【大会主題】共助のこころでしなやかに生きる日本人の育成

【分科会】①教育課程②学習指導③道徳教育④人権教育⑤特別支援教育⑥幼児教育⑦学校・家庭・地域社会の連携(シンポジウム)

【分科会県内提案】①久万高原町立立七川小学校②新居浜市立金子小学校③松山市立桑原小学校④四国中央市立三島中学校⑤西条市立楨瑞小学校⑥四国中央市立土居東幼稚園⑦宇和島市立津島中学校、伊予市立佐礼谷小学校(数字は分科会番号)

【記念講演】「不透明な時代を生き抜く力を子供たちへ 藤岡弘、生き様を語る」(俳優・武道家 藤岡弘)

【アトラクション】合唱(愛媛大学教育学部附属小学校)、吟詠剣詩舞(愛媛県立松山北高等学校・今治西高等学校)、創作歌舞伎舞踊(久谷地区伊予八百八狸保存会)

※愛媛県教育会HPに公開中

(愛媛文教育報編集協力委員 佐藤 太)